



並木中等story

令和5年2月13日号

いつの間にか傲慢になっている

「私は並木中等の生徒よ。あなたたちとは違うのよ。」という気持ちがあったら、それは傲慢です。人は気を許していると、他人と比較し傲慢になったり、ひがみをもったりします。それは良くないことです。



心理学の先生に人はどのような時に傲慢になるかを聞きました。その答えは「自分に自信が無い時や信頼を失いかけている時だそうです。」自分の自信のなさをごまかすために傲慢になる必要があるのだそうです。

私も“傲慢な自分”に気付くことがあります。校長になると、その傲慢を指摘してくれる人は友達ぐらいです。それもまれです。また、最近は友達通しでも注意し合うことは減っていると思います。自分だけが“傲慢に

なっていることに気がつかない”ということが起こりがちです。皆さんはどうでしょうか。チームやクラスの代表の人は大丈夫ですか。時々、セルフチェックをして、自分の“傲慢”の度合いを見るようにしてください。

《祝 第95回日本生化学会年会高校生発表銅賞！》

名古屋国際会議場で行われた第95回日本生化学会年会高校生発表で5年次の小栗さんが銅賞に選ばれました。小栗さんのテーマは「エンドウの枝分かれのメカニズムを探る」です。おめでとうございます。